

株主・投資家との対話の実施状況（2024年度）

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の一助としていくために、財務・IR担当役員と、IR担当部門を中心に株主との建設的な対話を行い、対話のなかでいただいたご質問・ご意見については、適宜、経営陣・取締役会にフィードバックを行っています。

なお対話に際し、当社関連部門で事前に公表可能な情報を確認する等、インサイダー情報の管理を徹底しています。

2024年度における株主との対話の実施状況は、以下のとおりです。

【2024年度における株主・投資家との対話の実施状況】

IR イベント	実績（回数）	活動状況（役職等は活動実施当時）
決算説明会	2回 参加人数 36名	代表取締役社長 兼 CEO、財務・IR担当取締役、取締役（グローイング事業本部長）が出席し、開催
IR 個別面談	50回	IR担当役員・総務広報部が中心となり個別面談を実施

対話の主なテーマ

【対話の主なテーマ】

- ・「中期経営計画 2027」について
- ・既存事業を取り巻く環境や戦略について
- ・業績の進捗確認
- ・WEMAS グループとのシナジー、のれんについて
- ・人的資本の取り組みについて
- ・BS(バランスシート)マネジメントについて

対話をふまえた対応状況

当社は、株主・投資家からいただいた意見を取締役会・経営陣へ適宜フィードバックし、経営に活かしております。

2024年度の具体的な対応事例は、以下のとおりです。

決算・決算説明における情報拡充

- ・決算短信にて EBITDA を開示
- ・決算説明会資料の充実化
- ・決算説明会を行わない決算(1Q、3Q)においても補足説明資料を作成し、開示（2025年3月期第3四半期決算より）

コーポレートサイトでの情報拡充

- ・2024年7月に企業情報、IR情報を、2024年11月にIR情報(個人投資家向けコンテンツ)、サステナビリティページをリニューアル。

英文開示の充実

- ・主要な開示資料の英文開示を実施(決算説明会資料、重要な適時開示等)
- ・コーポレートサイトでの英文開示の充実
- ・統合報告書を全文英訳開示